



# 安城市議会議員 石川つばさ通信 号外 市政レポート

## 安城市

# 大村秀章知事糾弾「大演説会」を容認へ

3月1日、安城市民会館にて「愛知県を良くする会」主催による、「愛知県を良くするための大演説会」が予定されています。ネット上に掲載されているチラシを見る限りでは、大村秀章愛知県知事に批判的な立場からの政治活動の一環の様にも見えます。ただ、関係者らの過去の活動を見ると違った側面が見えてきます。

例えば、チラシに記された連絡先は、県内在住の男性の電話番号となっています。同氏のブログを見ると、昨年の県知事選挙の頃にはあまり知事への言及がありませんでしたが、いわゆる慰安婦像などが展示された「あいちトリエンナーレ」の時期から知事への厳しい批判が連日続いています。この点から、トリエンナーレが知事批判の契機となったのは明らかです。同氏のブログ内には、放送・出版業界では使用が避けられている他国への差別的な表現が散見されます。

チラシに記された主催団体や、2つの共催団体の内の1つは活動実態が確認できませんが、もう1つの共催団体である「日本国民党」については、同党HPで過去の活動実態が確認できます。それによれば、同党代表の男性は2012年に韓国を訪れ、日本大使館前の慰安婦少女像に竹島の碑（竹島は日本の領土であるとの主張が書かれた杭）を縛り付け、これにより韓国への入国禁止措置が下され、指名手配を受けているとのことでした。また、同党の政策局長を務める男性は、「大阪市ヘイトスピーチへの対処に関する条例」に規定された「ヘイトスピーチに該当する表現活動」を行ったとして、2020年2月14日現在、大阪市のHPに実名が公表されています。

さらに、演説会のチラシに掲載された2名の弁士の内1名は、一昨年に東京で行われたヘイトデモの際、ヘイトに抗議した男性に暴行を加え、現行犯逮捕されています。報道では実名こそ出ていないものの、自身のブログで逮捕されたことに言及しています。その中で、「一切の後悔はありません」「警察に代わり実力行使で排除したまでの話」「勢い余って突き飛ばして何が悪い」などと綴り、更生の意思も示していません。

こうした個人・団体らによって行われる「大演説会」は、表向きには大村県政への意見表明の体裁でも、過去の行動に照らせばヘイト演説会となることは明らかです。残念なことに、安城市はこうした実態を知った上でなお、市民会館の利用許可を取り消すことに対し、頑なな姿勢を示しています。こうした姿勢は、「安城市はヘイトに寛容である」という誤ったメッセージになりかねません。

京都府下の複数の自治体では、安城市よりも踏み込んだヘイト対策のガイドラインを策定しています（詳細は先週号）。今後は先進自治体から学ぶこととし、まずは条例を含む現行法体系の中で可能な対応をとるべきです。仮に、十分な対応も無いままヘイトが行われた場合、その責任の所在についても明らかにしていく必要があります。

石川翼事務所 446-0072 安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル 2F 南  
電話 0566-98-6932 メール [ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp](mailto:ishikawa2011@aria.ocn.ne.jp)  
編集：石川つばさを支援する会